

清見陸郎 きよみ ちかお 劇作家、美術評論家。明治十九年十月十一日東京生まれ、昭和二十一年一月二十日歿（八六、一九五）。筆名公浪、海潮音、清見春波、清見海潮音、やまのこみ等。東京美術學校、早稲田大學中退。雑誌『秀才文壇』、『美術新報』編輯者、根岸興行部脚本部員など。著譯書、『戯曲集』、『宮古路豊後掾』（大正七年四月十日自刊、粗山書店發賣）、『世界話エスペランタの創成とその發展及び使命』（昭和二年四月二十日自發藝講演通信社）、『學藝講演通信社パンフレット』、エライザ・オルゼシエウ作『寡婦マルタ』（譯、昭和二年十二月八日改造社、再刊。四年七月二日「改造文庫」、二十六年十一月二十日クテルス社）、『岩村透と近代美術』（昭和十二年五月十四日聖文閣）、『岡倉天心傳』（昭和十二年五月二十七日改造社「改造文庫」）、『北京點描』（昭和十六年十月五日大都書房）等。

